

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	41	十分に水分補給出来ていない。	食事の水分も含めて1800cc摂取を目指す。 (味噌汁は三食で450ccと考える)	食事の際だけでなく、起床時・10時・入浴後など水分を摂る機会を増やす。むせるなどして飲みにくい方には、とろみをつける・ゼリー状する等、形状にも工夫して脱水を防ぐ	6ヶ月
2		歩行は自立されているものの、常に転倒の危険がある利用者様が多い。	残存機能を生かし、出来るだけ補助具に頼らず歩く。 歩く事で、筋力も維持でき循環も良くなり、快食・快眠・快便につながる。	筋力を維持する為、ラジオ体操を毎日続ける。 トイレの行き来、食事の席への移動等生活の中で歩く機会を多く持つ。 床に、不必要な物を置かない、常に整理整頓するなどして、転倒しにくい環境を整える。	6ヶ月
3		御家族に利用者様のありのままの姿を伝えるのが難しい。	利用者様の姿を御家族と共有し、共にケアしていく。	機会ある毎に、利用者様の様子を伝えていく。 利用者様のケアには御家族の協力が必要である事を介護計画書にも明記し、説明する。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。